

**設置から 20 年後の食塩製造タンクでも腐食なし
スーパーオーステナイト系ステンレス鋼 NAS254N の耐食性実証**

日本食塩製造株式会社殿の食塩製造タンク(食塩スラリータンク)には、当社が開発したスーパーオーステナイト系ステンレス鋼の NAS254N(23%Cr-25%Ni-5.5%Mo-0.2%N、JIS 該当鋼種：SUS836L)が使用されています。20 年前の 2002 年に建設された当該タンクについて、本年 1 月に開放検査を実施した結果、タンク内には腐食による損傷がないことが確認されました。

食塩を製造するプラントでは、取り扱う流体が高温の濃厚食塩水であるため、汎用ステンレス鋼の SUS304 や SUS316 では腐食する懸念があり、チタンやアロイ 276(ニッケルクロムモリブデン合金)等の耐食性に優れた材料が広く用いられています。しかしながら、これらの材料は高価で、プラント建設コストの上昇が避けられないことから、食塩製造プラント環境で耐食性を有するステンレス鋼が求められていました。

NAS254N はこのようなニーズに対応できるステンレス鋼であり、これまでに多くの食塩製造プラントの各種機器や配管に採用されています。タンク内の高温飽和食塩水や析出塩に対する耐食性により、タンクの長寿命化やメンテナンスフリー化も可能となり、お客様の維持管理費用低減等に貢献しています。

当社は今後も幅広い分野でのソリューション営業を通してお客様のニーズにお応えし、高耐食性等の優れた機能性を持つ製品を世の中に提供してまいります。



NAS254N 製食塩スラリータンクの外観



運転開始時と変わらぬ食塩スラリータンクの内部
(タンク上部から撮影)

(画像提供：日本食塩製造株式会社殿)

本件に関するお問い合わせ先：ソリューション営業部 (電話：03-3273-4649)